

# ひこね 市議会だより



「おんな城主直虎」で  
彦根を盛り上げる議員  
連盟・市議会主催の  
講演会を開催しました  
(平成28年5月26日)

平成28年5月臨時会 (5月19日)  
平成28年6月定例会 (6月6日~6月23日)

5月臨時会の結果・質疑等	2~4
6月定例会で決まったこと	5~9
個人質問・個人質疑	10~20
お知らせ	21~22



# — 決定しました —

5月臨時会で副議長、監査委員を新たに選任しました。  
 なお、議長の変更はありません。  
 各委員会委員の構成は以下のとおりです。



監査委員  
上杉 正敏議員



議長  
西川 正義議員



副議長  
小川 喜三郎議員

## ◇委員会の構成◇

(平成28年6月23日現在)

企画総務消防常任委員会	◎安居 正倫 ○夏川嘉一郎	野村 博雄 小川喜三郎	矢吹 安子 長崎 任男	獅山 向洋 奥野 嘉己
福祉病院教育常任委員会	◎安澤 勝 ○北川 元気	赤井 康彦 西川 正義	中野 正剛 杉原 祥浩	辻 真理子 山田多津子
市民産業建設常任委員会	◎谷口 典隆 ○山内 善男	馬場 和子 上杉 正敏	八木 嘉之 和田 一繁	安藤 博 小菅 雅至
予算常任委員会	◎安藤 博 ○馬場 和子 山田多津子	野村 博雄 辻 真理子 和田 一繁	八木 嘉之 矢吹 安子 杉原 祥浩	中野 正剛 夏川嘉一郎 長崎 任男
議会改革特別委員会	◎馬場 和子 ○赤井 康彦	安藤 博 和田 一繁	谷口 典隆 奥野 嘉己	山内 善男 上杉 正敏
本庁舎耐震化整備検討特別委員会	◎八木 嘉之 ○安澤 勝 谷口 典隆 獅山 向洋 北川 元気 辻 真理子	夏川嘉一郎 小川喜三郎 赤井 康彦 安藤 博 矢吹 安子 和田 一繁	野村 博雄 杉原 祥浩 小菅 雅至 上杉 正敏 中野 正剛 山内 善男	山田多津子 奥野 嘉己 長崎 任男 安居 正倫 西川 正義 馬場 和子
議会運営委員会	◎安藤 博 ○安澤 勝	長崎 任男 谷口 典隆	山田多津子 上杉 正敏	杉原 祥浩 八木 嘉之
議場開放促進委員会	◎赤井 康彦 ○山内 善男	小川喜三郎 中野 正剛	奥野 嘉己 杉原 祥浩	馬場 和子 北川 元気
広報委員会	◎安澤 勝 ○八木 嘉之	西川 正義 長崎 任男	矢吹 安子 上杉 正敏	和田 一繁 夏川嘉一郎
広聴委員会	◎安居 正倫 ○谷口 典隆	安藤 博 獅山 向洋	山田多津子 小菅 雅至	辻 真理子 野村 博雄
議会情報公開調整委員会	◎安居 正倫 ○夏川嘉一郎	野村 博雄 小川喜三郎	奥野 嘉己	

◎=委員長、○=副委員長

# 5 月 臨時会の結果

5月19日に開催した5月臨時会の結果についてお知らせします。

一般会計補正予算案2件、彦根市公有財産審議会条例の一部を改正する条例案など条例関係2件、その他議案3件、会議案1件を原案のとおり可決・承認・同意しました。

## 熊本地震被災地支援事業

505万7千円

平成28年4月14日に発生した熊本地震による被災地支援要請に応じるための人的・物的支援経費などです。

ひこにゃんが熊本県へ災害見舞金100万円を届けたほか、彦根市からは、6月27日現在で、7名の職員を被災地へ派遣しました。

- ・ 保健師 1名
- ・ 被災宅地危険度判定士 2名
- ・ 被災建築物応急危険度判定士 1名
- ・ 家屋被害認定支援業務 1名
- ・ 役場窓口支援業務 2名



## 5月臨時会の議決結果【全会一致で可決・承認・同意した議案等】

議案番号	件 名	結果
議案第46号	平成28年度(2016年度)彦根市一般会計補正予算(第1号)	可決
議案第47号	専決処分につき承認を求めることについて (平成27年度(2015年度)彦根市一般会計補正予算(第8号))	承認
議案第48号	専決処分につき承認を求めることについて (彦根市市税条例等の一部を改正する条例)	承認
議案第49号	彦根市公有財産審議会条例の一部を改正する条例案	可決
議案第50号	工事請負契約の締結につき議決を求めることについて	可決
議案第51号	彦根市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	同意
議案第52号	彦根市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意
報告第7号	損害賠償の額の決定について	—
報告第8号	損害賠償の額の決定について	—
会議案第2号	彦根市議会委員会条例の一部を改正する条例案	可決

Q 1億円の寄附者の氏名公表の努力をしたのか



獅山 向洋議員

Q 寄附の申し出および寄附を受けること決めたのはいつか。

A 本年4月5日に寄附の申し出があり、同日、市長がお受けするとの決裁をした。

Q 寄附者が匿名を希望した理由は何か。

A 寄附者は、金額、目的、日本人の個人であること以外、匿名の理由も含め公表しないことを強く希望された。

Q 市長は氏名等の公表をすすめたのか。

A 公表の話はしたが、前述の事実以外は公表しないことを強く希望されたので、それ以上のお話ではできなかった。

Q 氏名が漏れたときの責任

A 氏名等の公表の話はしたが匿名を希望された

は誰にあるのか。

A 職員には守秘義務がある。情報管理を徹底する。

Q この寄附は「ふるさと納税」か。  
「ふるさと納税」である。



▶ふるさと納税制度案内ポスター

その他の質疑

・熊本地震被災地支援事業について

議会改革特別委員会中間報告  
議会閉会中も委員会を開催し調査継続

4月15日に開催した委員会では、主に「予算特別委員会を予算常任委員会とすることについて」と「閉会中における常任委員会の開催について」を議題として議論をした。

予算を審査する委員会を「特別委員会」でなく「常任委員会」とすることについては、平成18年の地方自治法改正により、議員は複数の常任委員会に所属することができるようになったことや、定例会および臨時会では予算審査が必須となっている現状から、委員定数12名の常任委員会として設置することとし、関係条例を改正する案について了承を得た。

議会閉会中の常任委員会の開催については、地方自治法の定めにより、閉会中も審査を継続することは可能ではあるものの、これまで当市議会では、閉会中に常任委員会を開催しての調査実績はなかった。しかしながら、議会開会中に常任委員会に付託される議案以外の課題への対応や、長期的に調査が必要な案件等も顕在化する中で、閉会中に委員会を開催しての継続調査が必要と判断し、12月定例会までに各常任委員会がそれぞれ調査項目を精査した上で委員会の開催を試行することに決した。

# 6 月 定例会の結果

6月23日に閉会した6月定例会の結果についてお知らせします。

一般会計補正予算案など予算関係は3件、彦根市市民交流センターの設置および管理に関する条例案など条例関係6件、その他議案1件、会議案1件を審査し、原案のとおり可決しました。

## 彦根市市民交流センターを設置 市民交流センター運営事業 176万6千円

平成28年10月1日から、彦根市地域総合センター東山会館は、市民相互の交流拠点となる「彦根市市民交流センター」になります。

センターの使用料は、無料です。(別途、冷暖房使用経費は必要です。)

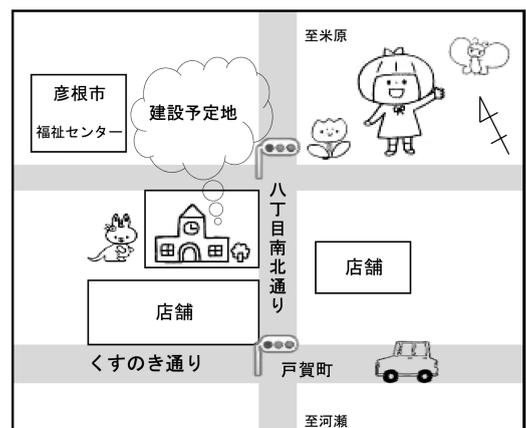
なお、これまでの地域総合センターの機能は、彦根市地域総合センター人権・福祉交流会館(WAっとねす春日)に集約されます。

市民交流センター運営事業にかかる経費は、運営委員会委員の報酬、センター自主事業の講師謝礼や施設運営費など、彦根市市民交流センターとして業務を開始するための必要な経費です。



## 民間保育所施設整備事業 7,545万1千円

国の「待機児童解消加速化プラン」に基づく補助を受けて、0・1・2歳児の待機児童を解消するため、民間小規模保育所施設(設置者:医療法人 藤野こどもクリニック/利用定員19人)を新たに建設する経費などへの補助金です。



伝統的建造物群保存対策事業

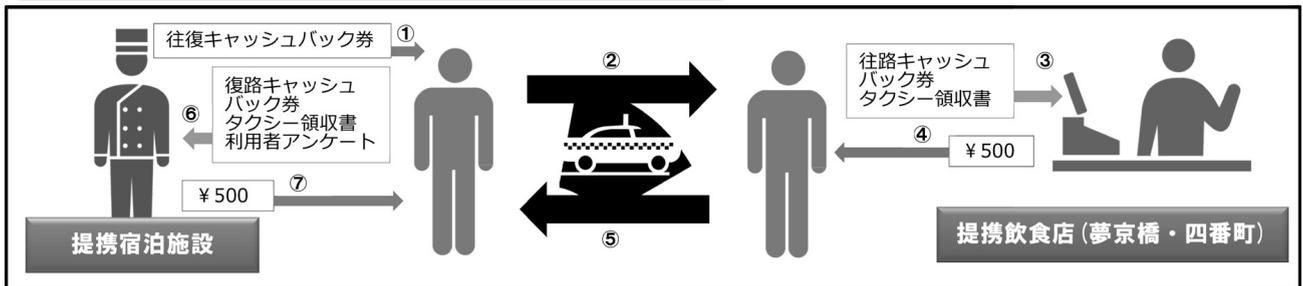
650万円



河原町、芹町の各一部が、平成28年5月20日に文化庁の文化審議会において国の重要伝統的建造物群保存地区に選定するよう答申されたことに伴い、歴史的まちなみ保全のため、建築基準法に基づく建築規制の一部を緩和する必要があることから、保存地区内の全ての建造物（約100棟）を調査するための経費などです。

夜間観光誘客促進事業

124万2千円



提携宿泊施設の宿泊客が、夕食をとるために夢京橋キャッスルロードまたは四番町スクエアの提携飲食店へタクシーで移動した場合に、往復のタクシー代の一部をキャッシュバックする事業を試験的に実施し、その効果を調査・検証するための経費（片道500円×2枚×1,000組）などです。

## 予算常任委員会

### 彦根市一般会計補正予算および彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算について

予算常任委員会は、6月16日および6月23日に委員会を開催し、3件の議案について慎重に審査しました。

#### 【審査】

・議案第53号、議案第54号、議案第61号

#### 【主な内容】

○議案第53号平成28年度（2016年度）彦根市一般会計補正予算（第2号）のうち、子どもの貧困対策計画策定事業では、小中学校の保護者へのアンケートについて、対象学年および対象保護者数、また、対象保護者は無作為抽出か、学校を通じて実施するのかとの質疑があった。これに対して、小学校は4年生から6年生、中学校は全学年の保護者からそれぞれ1,200人を無作為抽出する。その後、郵送し、専用の封筒で返信していただくとの答弁があった。

#### 【結果】

・議案はいずれも原案のとおり可決。

## 市民産業建設常任委員会

### 東山会館を市民交流センターとして新たに開設

市民産業建設常任委員会は、6月17日に委員会を開催し、2件の議案について慎重に審査しました。

#### 【審査】

・議案第55号、議案第59号

#### 【主な内容】

○議案第55号彦根市市民交流センターの設置および管理に関する条例案の審査では、本年10月より彦根市市民交流センターとして新しく生まれ変わる「東山会館」の機能や役割について、他の施設への全面移転となるのかとの質疑があった。これに対し、これまでの業務内容は基本的に「彦根市地域総合センター人権・福祉交流会館（WAっとねす春日）」への移管となるが、相談窓口としての役割はこれまで通り残すとの答弁があった。

また10月以降の職員体制や貸し館利用の有無についての質疑には、現状の体制を維持することや貸し館として市民が利用できる予定であるとの方針が示された。

#### 【結果】

・議案はいずれも原案のとおり可決。

## 企画総務消防常任委員会

### 彦根市市税条例等の一部を 改正する条例について

企画総務消防常任委員会は、6月20日に委員会を開催し、3件の議案について慎重に審査しました。

#### 【審査】

・議案第56号、議案第57号、議案第58号

#### 【主な内容】

○議案第57号彦根市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例案においては、条例の目的、彦根市独自の内容等については、番号法の範囲において彦根市の独自利用事務を定めるもので、福祉医療費の助成、介護サービス等利用者負担軽減、就学援助に関する事務等であるとの答弁があった。

○議案第58号彦根市市税条例等の一部を改正する条例案においては、最高裁の判決を踏まえ、市税の延滞金の計算の期間が見直されることになるが、本市においての取り扱いはどうなるかという質疑に対して、本市では条例の施行日以降のものについて適用するとの答弁があった。

#### 【結果】

・議案はいずれも原案のとおり可決。

## 福祉病院教育常任委員会

### (仮称) 平田認定こども園の 工事請負契約の締結を議決

福祉病院教育常任委員会は、6月21日および23日に委員会を開催し、2件の議案について慎重に審査しました。

#### 【審査】

・議案第60号、議案第62号

#### 【主な内容】

○議案第60号彦根市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案では、以前新システムが導入された時、本市は地域型事業所の保育士の配置を二対一としており、国の通知(二対三)よりも上乘せしている。彦根市として独自の運用をもつと議論する必要があるのでは、との質疑があった。これに対して、国からの通知を踏まえて条例を改正するが、市として質の高いサービスを提供できるような運用していくとの答弁があった。

○議案第62号工事請負契約の締結につき議決を求めることについては、全国的に保育士不足となる中で(仮称)平田認定こども園にかかる人員確保の見通しは、との質疑があった。これに対して、一時保育、地域子育て支援、休憩対応など様々なケースに対応できるように配置基準を確保し、4月1日には開園できるように体制を整えていく、との答弁があった。

#### 【結果】

・議案はいずれも原案のとおり可決。



市立病院に設置した  
在宅医療支援室の取組は



辻 真理子議員

療機関からの重症患者の受け入れができるよう医療連携を深めていく必要がある。



▲経営安定が求められる彦根市立病院

**Q** 市立病院に設置された在宅医療支援室の取組は。  
**A** 入院での治療が終了して不安定な場合があるので、在宅医療支援室が自宅での診察、急変に対応する。また、レスパイト入院(在宅介護などで日々の介護に疲れを感じ、介護不能になることを予防するための短期入院)にも対応する。  
**Q** ICU病床稼働の課題は。  
**A** ICU(集中治療室)は現在6床稼働しているが、更に2床稼働させた場合、患者2名に対し1名の看護師配置基準となり、看護師の増員が必要となる。湖東医療圏では唯一のICUなので、他の医

自宅への往診や  
レスパイト入院にも対応する

その他の質問

- ・在宅医療にエンディングノートを活用してはどうか
- ・特定看護師とは
- ・地域医療支援病院について

彦根市の全ての新生児に  
聴覚検査の受診を



中野 正剛議員

覚検査を受けていただけると、母子健康手帳交付時やパパママ学級等で検査の重要性を知りたい。

▲聴覚検査パンフレット (出典 特定NPO法人難聴者支援センター)

**Q** 彦根市での「新生児聴覚検査」受診の現状は。  
**A** 平成27年度に4か月児健康診査を受診した986人のうち、新生児聴覚検査を受診した新生児は、833人で、受診率は84.5%だった。  
**Q** 全ての新生児に公費負担で聴覚検査実施を。  
**A** 本市では公費負担は実施していない。聴覚検査を受診されない理由が経済的な負担を要するという理由とは限定できないことから、受診を希望されない理由を把握したうえで、その必要性について調査研究する必要がある。また、できるだけ多くの新生児に聴

聴覚検査の重要性を  
周知していきたい

その他の質問

- ・骨髄移植ドナーに対する支援の充実を
- ・彦根市の耐震対策について

Q 子ども達の未来のために  
しっかりと教育を



野村 博雄議員

Q 「全国学力・学習状況調査」

で、本市が全国平均に達した教科等は、平成25年度2教科、平成26年度1教科、平成27年度においてはゼロである事への認識は。

A 大変深刻な状況にあるとの受け止めに変わりは無い。

Q 改善策は進んでいるか。

A 学力向上検討推進委員会で現状と課題の分析や方策の検討、家庭学習の定着のため「彦根マイスター賞」の積極的活用、市費臨時講師の配置、福井県敦賀市の小学校へ22名が先進地視察予定等、着実に取組を進めている。

Q 子ども達が将来困る事が

A 本市の深刻な状況を認識し学力向上に努める

ないように、基礎学力の習得は大人の責務とも言え、更なる取組を願うが。  
A 学力向上担当者会や専門性の高い教員の活用等、様々な方策を一層推進する。

彦根市の教科に関する調査結果

※調査の結果は、学力の特定的一部分です。

○平均正答率(平均正答率)

教科等	国語		算数・数学		理科
	A「知識」	B「活用」	A「知識」	B「活用」	
全国	9.8題/14題 (70.0%)	5.9題/9題 (65.4%)	12.0題/16題 (75.2%)	5.9題/13題 (45.0%)	14.6題/24題 (60.8%)
滋賀県	9.6題/14題 (68.6%)	5.7題/9題 (63.7%)	11.6題/16題 (72.7%)	5.6題/13題 (43.0%)	13.9題/24題 (58.0%)
彦根市	9.2題/14題 (66.0%)	5.6題/9題 (62.6%)	11.3題/16題 (70.8%)	5.4題/13題 (41.8%)	14.0題/24題 (58.2%)
全国	25.0題/33題 (75.8%)	5.9題/9題 (65.8%)	23.2題/36題 (64.4%)	6.2題/15題 (41.6%)	13.3題/25題 (53.0%)
滋賀県	24.4題/33題 (74.1%)	5.7題/9題 (63.8%)	23.0題/36題 (63.8%)	5.9題/15題 (39.2%)	12.6題/25題 (50.3%)
彦根市	24.1題/33題 (73.1%)	5.6題/9題 (62.5%)	22.9題/36題 (63.7%)	5.9題/15題 (39.3%)	12.7題/25題 (51.0%)

その他の質問

・重要な観光資源として河瀬駅を玄関口とした荒神山の活用を  
・下水道事業の推進を  
・安全・安心な街づくりに街灯の整備を

Q ひこね燦ぱれすを解体し  
図書館的機能を



赤井 康彦議員

Q 市は、南彦根駅西側ひこ

ね燦ぱれすに隣接する市有地に新市民体育センターを建設すると決定されたが、周辺一帯を利用し、散歩道やランニングコースを設置できないか。

A オープンスペースを考えており、隣接する福満公園との動線も考慮し設計の中で検討していく。また、メインアリーナに屋内ランニングコースを設置する予定。

Q 隣接するひこね燦ぱれすは、新市民体育センターと同じような性質も持つ。以前からの議会答弁や地元の要望、市長公約などから勘案し、市長は、ひこね燦ぱれすを解体して新

A 地元の意向を汲んで  
構想をまとめる

たに図書館的機能を備えつけるべきだと考えるが。  
A 図書館的機能としてどういった事ができるのかも含め、地元のご意向をしっかりと汲んで構想をまとめていく。



▶ ひこね燦ぱれす

その他の質問

・新市民体育センターに柔道の畳を  
・ひこね燦ぱれす導線入口に信号機を  
・ネーミングライツの考えは



彦根市民体育センターが  
利用不可能な期間は



安藤 博議員

期を遅らせるよう要望しているが、仮に平成30年度に解体するとした場合、新市民体育センターの竣工までの、少なくとも約4年間が利用不可能と想定される。

**Q** 国体に向けて県立彦根総合運動公園の再整備に伴い、彦根市民体育センターが、ひこね燦ぱれす近隣に移設新築することとなった。そのため、現市民体育センターの解体から新市民体育センターの竣工までの期間が利用できないことになる。利用不可能な期間について伺う。

**A** 現市民体育センターの解体スケジュールが明確になっていないが、県立彦根総合運動公園内の県有施設と同様の時期までは利用可能であることから、平成29年9月までは確実に利用可能と考える。県に対して、できる限り解体時



平成29年9月から  
約4年間となる



▲解体予定の彦根市民体育センター

その他の質問

・滋賀県本社機能移転促進プロジェクトについて



上水道事業の評価と今後について



奥野 嘉己議員

**A** 導入につき検討を行う。  
**Q** 現有施設は過剰設備と見えるが今後も必要なのか。  
**A** 今年度の琵琶湖水利権更新と合わせ、適正な施設能力と将来計画の検討を行う。

**Q** 上水道事業の現状は。人口減少、節水機器普及により収入減。一方、設備、管路の更新、耐震化に支出増。大藪浄水場更新も含め、策定中の第3期中期経営計画等に盛り込み、値上げ回避の工夫を行い、経営健全化を図る。

**Q** 事業評価の目標設定が低く、達成度がほぼA評価では、市民をミスリードしないか。  
**A** 市民に誤解を招くこともあると思われる、明確な説明責任を果たしていく。  
**Q** 事業評価の指標に対し、重み付け評価導入や、直感で達成度が把握できるように改善を求める。



策定中の第3期中期  
経営計画等に反映する

業務指標	目標値	実績値	達成率 (%)	評価階級
管路の更新率	0.66	0.71	107.6	A
経年化管路率	9.3	11.4	97.7	A
浄水施設耐震率	76.5	76.5	100.0	A
ポンプ所耐震施設率	81.6	87.2	106.9	A
配水池耐震施設率	90.9	90.9	100.0	A
管路の耐震化率	6.4	9.7	151.6	A

▲平成27年度彦根市水道事業 事業評価報告書(抜粋)

その他の質問

・石綿セメント管の早期撤去を  
・今後の設備更新に要する資金需要は

Q

農業・農村は地方自治体の不動の土台では



夏川嘉一郎議員

**A** 今後の本市農業施策は、国や県施策も利用しながら、本市を取りまく条件も勘案し、特色ある施策を積極的に展開していきたいと考えている。

**Q** 世界グローバル化の進展は同時に世界不安定化時代の到来でもある。これに対する切札として、社会構造を底辺で支える「不動の土台」として「農業・農村」の存在が再認識され始めている。本市もこの観点のもと、独自農政推進に取り組みべきでは。

**A** 現在は高齢化や担い手の育成・確保など多くの課題があると認識している。解決策の一つとして、本市独自の地域振興施策である「まち・ひと・しごと農業人育成プロジェクト」などの種の事業に取り組む。

**Q** 改めて、本市農政の基本姿勢を問いたい。

**A** 魅力ある彦根の農業を創出する



▲岐路に立つ市内農業

その他の質問

- ・自転車活用による「まちづくり活性化策」について
- ・荒神山圏一帯の保護政策について

Q

大久保市長の次期市長選出馬の考えは



北川 元気議員

**A** 必要がある。今後も強い彦根の実現に着実に取り組む。

**Q** 大久保市長の次期市長選出馬の考えは。

**A** まずは、喫緊の課題を解決することが最優先と考える。

**Q** 大久保市長が「強い彦根を実現します」と公約を掲げ彦根市長に就任されて3年が過ぎ、任期は残り1年である。公約とは、市長が市民と交わした約束であるが、任期満了までに実現できないと見込まれるものは。

**A** 施策を実現するためには事業計画の策定、予算の確保、成果が生まれるまでの時間の3つが必要。国体主会場周辺整備事業や新市民体育センターおよび新図書館の整備、小学校の空調整備等のハード事業は用地選定や計画の策定に時間を要するほか、事業費も膨大で財源の見通しを立てる

国や県との連携を強め、イキイキした若さあふれる彦根市政を実現します

**私達の約束**

**強い彦根を 実現します**

「強い彦根を創る会」 TEL 0748-21-0180

その他の質問

- ・彦根市職員の事故ゼロを目指して
- ・彦根市の待機児童ゼロを目指して

**A** まずは、喫緊の課題を解決することが最優先



非常備消防の体制の強化と設備の充実を願う



八木 嘉之議員

**Q** 第14分団の車両更新に伴う車庫の改修計画は。  
**A** 平成30年度の車両更新に合わせ、地元分団の意見を聴きながらどのような改修方法で行うか検討している。

**Q** 本年度は、消防団等充実強化法制定から3年目となる。団員確保に向けた取組策は。

**A** 消防団の活動を知っていただくための広報活動のほかに、団員の処遇改善や装備の充実をさらに図っていく。

**Q** 団員が災害、警戒、訓練等のため出勤もしくは出務したときに支給される費用弁償額の改定の見解を求める。

**A** 県内他市と比較しても大きな離れはないが、必要に応じて見直しを行っていく。

**Q** 防火水槽の今後の整備計画について見解を求める。

**A** 今後も年次計画に基づき毎年度1基ずつ配備する。



▲消防分団員による訓練の様子

その他の質問

・高宮学区の西部用水組合が抱える課題への対応について

計画に基づき強化充実に向け努力していく



熊本地震の知見を防災計画改定へ反映しては



馬場 和子議員

**A** 避難・救出・交通確保・物資調達・医療・ライフライン確保などの面で不可欠。防災教育で担い手を。防災教育副読本を活用し地域の担い手を育てる。

**Q** 熊本地震からの再検証すべき課題はどのようなものか。

**A** 大規模地震発生後の建築物等の危険度判定の体制、住民への情報提供のあり方、避難所や車中泊等の把握と支援物資の仕分けや搬送など新たな課題の改善策を充分検討し防災計画全面改定に反映する。

**Q** 福祉的に配慮した避難所が必要と考えるが。

**A** 福祉避難室を避難所内に設けるほか、要配慮者の状況に合わせて、今後、協定締結できた介護施設等を福祉避難所に指定するなど対応。

**Q** 遠隔地や民間との災害時協定の必要性への見解は。



▲彦根市防災訓練の様子（平成27年8月）

その他の質問

・福祉日本一とは  
 ・彦根の宝を磨き、活用・発信するには  
 ・彦根らしさを発信するシティプロモーション構想について

課題を再検証し防災計画の全面改定に活かす

彦根駅西口ロータリーの歩道整備について



和田 一繁議員

フリー化だけでなく、雨水処理対策も十分に考慮し、安全で快適な道路整備を進めていきたいと考えている。

**Q** 彦根駅西口ロータリーにおける歩道の浸水について見解は。

**A** 応急的な対応として浸水箇所の路面に切り込み溝を施し、改善を図ったものであり、その後浸水は確認されておらず効果は現れている。

**Q** 彦根市として今後の対策は。

**A** 改修内容として、今年度は彦根駅西口エスカレーターの改築を行い、その後シエルトターの改築、そしてロータリーの面的な改修を考えており、その完成は平成30年度末を予定している。具体的な整備方針については、今年度策定することとしているが、バリア

**A** 浸水箇所の路面に切り込み溝を施し改善した



彦根駅西口ロータリー歩道浸水箇所

その他の質問

- ・消防団等充実強化法施行後の消防団員募集について
- ・真田丸にみる石田三成と激動の佐和山城展について

保育料を無料化し、市長公約の実現を



山内 善男議員

**A** 国、県の制度と連携する。第2子以降を無料、長浜市は2億3000万円で半額か無料化する。市長の公約「全国一の福祉モデル都市」実現のため保育料無料化を行えないか。

**Q** 安倍政権で非正規労働者の推移と賃金の実態は。

**A** 1870万人から2007万人。賃金は正規の約6割。物価も加味した実質賃金の推移はどうだったか。

**Q** 4年連続マイナスである。実質賃金は約5%下がり、年収400万円なら20万円が消失したことになる。

**Q** 保育料の滞納者数は。

**A** 月平均2350件の内120件、5%が納期限に未納。

**Q** 市の保育料はどの程度か。

**A** 県平均と比較し、全体として上回っている。(表参照)

**Q** 以上、若い世代は特に生活しづらい環境だ。米原市は

**A** 国や県の制度と連携して取り組む

保育所保育料(2015年度)	(標準時間)		
	3才未満児	3才児	4才児以上
彦根市	55,000	34,000	29,000
料金県順位	4	8	9
県平均	48,842	32,486	28,599
差	6,158	1,514	401

市町民税所得割20万円を表示

▲保育所保育料 (2015年度)

その他の質問

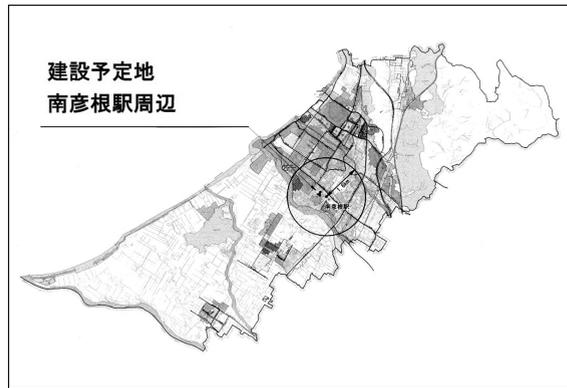
- ・老朽化した幼稚園の施設整備計画は
- ・自治会要望書の取り扱いの確か
- ・近江鉄道彦根口駅建設、鳥居本駅整備を

稲枝駅西地区に  
新市民体育センターの設置を



安居 正倫議員

合的に判断した結果、取りまとめられた。市としては、検討委員会からの報告や教育委員会からの申し出を尊重しながら市の関係部局による協議を踏まえ決定した。



▲新市民体育センター建設予定地

**Q** 新市民体育センターの建設地については複数回にわたり稲枝駅西口に決定してほしい旨、地域団体を通じ市長に要望や陳情を行ったが、燦ぱれず隣接地に決定した。常々市長が表明していた稲枝駅西口開発の熱い思いや強い気持ちは複数回の陳情等でのように配慮され、なぜ稲枝駅西口に決定されなかったのか。

**A** 各地域からもらった要望等については真摯に受け止めている。新市民体育センターの建設候補地については「検討委員会」において、利便性や事業遂行上の経済性、円滑性に優れていることなどを総

**A** 検討委員会の意見を参酌し燦ぱれず隣接地に

その他の質問

- ・地域振興作物研究開発事業について

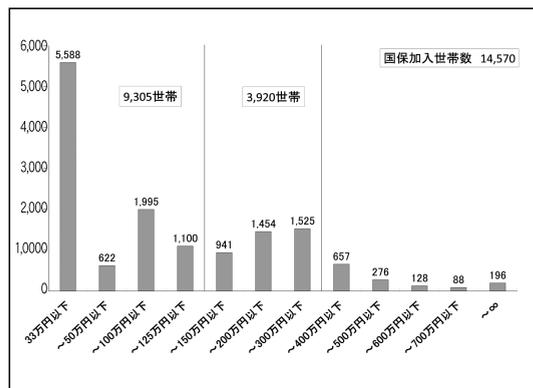
今年度の国保料は  
引き下げられるのか



山田多津子議員

と考えるが、世帯所得300万円の30代夫婦子ども2人の4人のモデル世帯（介護保険なし）ではどうなるか。

**A** 年間5,025円の引き下げになる。



▲所得段階別世帯数表

**Q** 国保料引き下げを求めた署名が数度議会に提出され、あらゆる財源を活用した引き下げを求めてきた。今回、加入者の所得で計算される応能割と世帯・加入者数で計算される応益割の負担割合の見直しに至った経緯は。

**A** 保険料率を据え置いてきたが、条例規定の割合と実情がかい離するため見直した。引き下げは何世帯か。

**Q** 前年度と所得などの世帯状況が異なるため一概に比較はできないが、所得の低い世帯を中心に約65%の世帯が減額となる見込みである。

**Q** 私は8割くらい引き下が

**A** 負担割合見直しで引き下げられる世帯がある

その他の質問

- ・保育園の待機児童解消と保育士確保策は愛のりタクシーとバス料金は一律に避難所施設について

Q 100周年を迎えた彦根市立図書館の今後は



矢吹 安子議員

Q 大正5年、県内で最も古く伝統ある公立図書館が開設。建設当時の町民の思いは。

A 直弼公の評価や人物観、業績を見直す機運が盛り上がり「御大典記念彦根開国文庫」の収集、町民の寄付や町役場学校から図書の移管を受けるなど、開設には町民の熱い思いがあったとされている。

Q 災害時における対応は。

A 現図書館は耐震診断ができていない。歴史ある貴重な資料など約76万冊蔵書しているが、施設の老朽化に伴う修繕や書庫不足の課題は協議をすすめる。

Q 図書館整備基本計画の進

A 今年度中に図書館整備基本計画を策定する



▲彦根市立図書館

捗状況は。  
A 10月に素案を作成し、図書館協議会で意見を伺い、パブリックコメントを実施して今年度中に策定し、地域に役立つ図書館づくりをしたい。

その他の質問

- ・「朝鮮通信使」について
- ・少年センターのこれから

Q 熊本地震を受け本庁舎耐震化事業の再検討を



獅山 向洋議員

Q 震度7、連続2回の熊本地震の惨状から、本庁舎耐震化増築について全面的に再検討すべきではないか。

A 現在の耐震設計では繰り返し起きる地震は考慮していないが、制震ブレースのダンパーは繰り返し地震にも性能が低下しないと聞いており再検討する必要はないと考えている。

Q 耐震化・増築の設計予定者に対し公開の場で意見を求めるべきではないか。

A 設計者および制震工法の専門家に確認したので公開の場で意見を求める考えはない。

Q 再検討しない結果、大地

A 再検討する必要はないと考える



▲彦根市役所本庁舎

震で市庁舎での事業継続（BCP）が失われたとき市長はその責任を取るのか。  
A 市庁舎のBCPが全般的に失われることはないと考えているのでご理解願いたい。

その他の質問

- ・彦根城の世界遺産登録と副市長発言は
- ・重要伝統的建造物群保存地区選定は
- ・びわ湖・近江路観光圏協議会解散理由は



災害に備え市内の河川に架かる橋梁は安全か



安澤 勝議員

管理者である県に対して適正な維持管理を強く要望していく。県からは、適宜状況を確認し、維持管理上必要に応じて土砂の除去を実施すると聞いている。

**Q** 市内河川に架かる橋梁の安全性に問題はないか。

**A** 全ての橋梁について5年に一度、近接目視で点検を行い、健全性を診断することになっている。緊急輸送道路等の重要性の高い橋梁を優先的に実施している。今年度は120橋の点検を予定しており、平成30年度までに全ての橋梁を点検し、診断結果に応じて対応していく。



▲矢倉川の現状

**Q** 堆積土砂の除去は。

**A** 河川に堆積する土砂は、川の流れを阻害し洪水時には河川の流下能力を十分に発揮できないことが危惧される。沿川地域から浚渫の要望も多く、



平成30年度までに  
全て安全点検を実施する

その他の質問

- ・ 防災面で、危険な空き家の対応は
- ・ 災害時に孤立が予想される地域は
- ・ 地域の問題に合った備蓄倉庫の増設を



拠点図書館および分館の場所は



長崎 任男議員

制を図書館整備基本計画の中で示していきたい。

**Q** 拠点図書館整備の進捗状況は。

**A** 今後、図書館協議会での意見を参酌し、10月頃を目処に図書館整備基本計画（素案）を作成したい。その後、図書館協議会で意見を伺うとともに、パブリックコメントを実施し、平成29年3月末までに「彦根市図書館整備基本計画」を策定していきたい。

**Q** 拠点図書館および分館の場所について見解は。

**A** 「湖東圏域内における望ましい公共図書館のあり方」についての報告書を基に、図書館協議会で協議いただいた意見を参酌し、配置や規模、体



▲彦根市立図書館



彦根市図書館整備  
基本計画の中で示したい

その他の質問

- ・ 彦根市におけるスポーツの産業化について
- ・ 彦根市南部のスポーツ産業の位置づけについて



新市民体育センターの配置で考慮した点は



杉原 祥浩議員

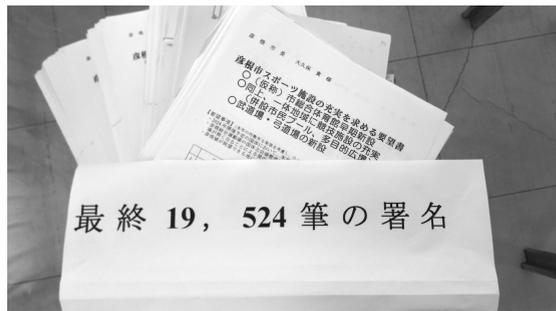
**Q** 「意見公募の考え方として、提出された意見の多寡ではなく、意見の内容に着目して判断を行う」とされているが、それでよいのか。  
**A** 正しい対応である。

**Q** 新市民体育センターの配置に、市の均衡ある発展を考慮したのか。  
**A** ゾーニングでの配置ではなく、地域の特性や周辺環境等を総合的に判断し、決定した。  
**Q** 屋内プールの整備は。  
**A** 県に要望しており、現在、市民プールを新設する計画はない。

**Q** 多目的広場の整備は。  
**A** 金亀公園内への配置を検討。  
**Q** 武道場の整備は。  
**A** 体育センターの導入機能の中で検討していく。  
**Q** 弓道場の整備は。  
**A** 体育センター整備の中に取り入れるよう検討していく。



地域の特性や周辺環境等を総合的に判断



▲彦根市スポーツ施設の充実を求める要望書(彦根市体育協会)

その他の質問

・参考資料として、候補地を選定するための各項目の事務局案を、委員に示したタイミングがおかしいのでは



芹川の大堀橋上流の右岸を整備してはどうか



小菅 雅至議員

やへりポートが整備され、消火栓と放水壁を使用した放水訓練が可能であることから、既存施設の活用でコミュニティ防災センターと同程度の機能が確保できている。

**Q** 芹川の大堀橋上流の右岸を整備してはどうか。  
**A** 旭森学区にある鞍掛山斜面の岩盤が護岸機能を果たしているものの、他の区間では構造物等が整備されていない状況である。治水の観点からは強固な護岸の整備が必要と考えており、県に対して未整備区間の河道整備の推進について強く働きかけていく。

**Q** コミュニティ防災センターを設置してはどうか。  
**A** 自主防災組織のリーダーを対象に、消防本部等の既存施設を活用した研修会で、消防士による実技指導を実施している。南分署では備蓄倉庫



県に対して河道整備の推進を働きかけていく



▲大堀橋から芹川上流方向を撮影

その他の質問

・本市ーT戦略のBCP対策は十分か  
 ・早川の損傷箇所修繕が必要では  
 ・消防署北分署の移転を考えてはどうか

Q 410年祭を控え観光施設にAEDの設置を



谷口 典隆議員

**Q** 市の施設に設置されているAEDの台数と設置率は。

**A** 本年5月末現在で市有施設115施設のうち96施設に110台が設置されており、設置率は83%となっている。

**Q** 未設置施設がAEDを設置しない、必要としない理由は。

**A** 利用者が少ない施設や近隣のAEDが利用可能な施設は設置の必要性が低いとの判断もあるが、今後利用人数や立地環境等を踏まえ、設置に向け再検討するよう指示する。

**Q** 現在、彦根城のAEDは

天守にしか設置されていないが観光客や市民の皆さんの安全安心のために彦根城管理事務所や玄宮園にも設置すべき。

**A** 彦根城は年間80万人以上の来訪者をお迎えしているため、不測の事態に備える必要から彦根城管理事務所と玄宮園々にAEDを設置する。



▲彦根城内で唯一設置されているAED

A 彦根城管理事務所と玄宮園に設置する

その他の質問

- ・夏休み明けの子ども  
の自殺を防ぐ取組を  
求める
- ・価値あるイベントの  
創造で彦根城入山料  
の見直しを求める

追加議案に対する個人質疑

Q (仮称)平田認定こども園の建設工事は



馬場 和子議員

**Q** 建設工事の予定と内容は。

**A** 8月から一部解体し建設工事に着手。来春に開園予定。

**Q** 工事期間中の園児の安全確保対策や大型の工事車両通行に係る懸案への対応は。

**A** 工事場所と既存園舎を鋼板製の仮囲いで仕切り対策。工事用の大型車両は園舎の北側および南側の道路を通行するが、通園時間帯は控え、交通誘導員を配置し、万全を期す。

**Q** 認定こども園への移行は

国も後押しする事業であるが交付金を除く市の負担額は。

**Q** 待機児童解消への効果は。

**A** 保育機能部分の利用定員を60人とし解消に一定の効果がある。



▲来春生まれ変わる平田幼稚園

A 工事期間中の安全に配慮し平成29年4月開園

その他の質疑

- ・入札参加業者数と契約予定業者を決定した理由と根拠について
- ・地元への説明会の開催について

## 本庁舎耐震化整備検討特別委員会中間報告

### ■アル・プラザ彦根の一部フロアを仮庁舎に借用

5月9日に開催した第8回目の委員会では、市役所本庁舎の耐震化工事期間中の仮庁舎として、株式会社平和堂が所有するアル・プラザ彦根の一部フロアを借用することが表明された。借用期間は、平成29年6月から平成31年5月までで、今後運用面などの詳細について協議し、今年度中に賃貸借契約を締結する。

### ■増築棟は景観に配慮したデザインと利便性を考慮したレイアウトに

増築部分の庁舎デザインに関しては、景観に配慮した外観や内装を実施設計の中で検討すること、レイアウトに関しては、コミュニティスペースなど市民が利用できる空間の確保や外構部分の植栽脇に新たに休憩用のベンチを設置する計画が示された。また、窓口部門のワンフロア化については、現在の1階に配置されている部署に加え、税務関連部署と証明書発行など一部業務について総合窓口化が図れるよう検討することが示された。

### ■仮庁舎の位置変更に伴う疑問点の解消

6月22日に開催した第9回の委員会では、仮庁舎の位置が、彦根駅東口から西口（アル・プラザ彦根）に変更されているが、既に公募型プロポーザルにより移動支援業務の契約を結ばれた事案について、仮庁舎の場所やフロア面積が流動的な中で契約履行に問題はなかったのかを質された。執行部からは、仕様書の特記事項に、仮庁舎の位置は変更もあり得ることを記しており、レイアウト検討の委託については、仮庁舎の位置が変更になっても積算している経費に影響を及ぼすものではない、との見解が示された。

## 議員表彰



全国市議会議長会会長から、谷口 典隆議員が15年表彰を受けられました。

## 子ども議会を開催します

今年も下記の日程で子ども議会を開催します。

市内小学校に通う6年生の児童が、子ども議員として質問します。

ぜひ傍聴にお越しください。

開催日：平成28年11月12日(土)  
午前9時15分～午前11時15分  
場 所：彦根市役所 5階 本会議場



昨年の子ども議員のみなさん

議場コンサートを開催しました

議場コンサートは、市民のみなさんに議会をより身近に感じていただきたいの思いから、議場開放の一環として開催しています。

今回は、平成28年6月定例会の開会日である6月6日(月)13時から、第22回議場コンサートを開催しました。

江州音頭 彦清会(げんせいかい)の12名にお越しいただき、郷土芸能である江州音頭の「新湖国自慢」など3節を披露していただきました。

演目が進むにつれ、傍聴の方や議員も踊りの輪に加わり、また傍聴の方の手拍子やかけ声も盛り上がり花を添え、議場が一体となった夏祭りさながらの熱気あふれるコンサートとなりました。



講演会を開催しました

5月26日(木)19時から議場にて「おんな城主直虎」で彦根を盛り上げる議員連盟・市議会主催の講演会を開催しました。井伊家18代当主井伊直岳氏を講師に迎え、「直虎」と「直政」彦根につながる井伊家の系譜」と題して講演いただきました。

彦根藩初代藩主井伊直政の「またい」とこ」にあたり、井伊家存続に重要な役割を果たした直虎が生きた時代や井伊家の歴史について、わかりやすくお話いただきました。

100名を越す市民の皆様が熱心に聴講いただき、講演終了後には、活発な質疑応答がなされ、平成29年に放映されるNHK大河ドラマ「おんな城主直虎」への市民の関心の高さを伺うことができました。



本会議・委員会の日程(予定)

月日	内容	時刻
9月5日(月)	開会	9:00
9月12日(月)	代表質問 個人質問	9:00
9月13日(火)		
9月14日(水)		
9月15日(木)	予算常任委員会 企画総務消防常任委員会 福祉病院教育常任委員会 市民産業建設常任委員会	9:30
9月16日(金)		
9月20日(火)		
9月21日(水)		
9月23日(金)	本会議	9:00
9月27日(火)		
10月5日(水)	決算特別委員会	9:30
10月6日(木)		
10月7日(金)		
10月13日(木)	閉会	9:00

議会の傍聴は事前申込み不要です。ぜひお気軽にお越しください。

編集後記

6月定例会におきましては、個人質問に議長、副議長、議会選出監査委員を除く21名の全議員が登壇いたしました。今回の個人質問では、熊本地震を受け彦根市の防災体制に関連する質問が多く、市民の安全で安心な生活や財産を守るべく、熱い議論が行われました。

これからも議会の状況を紙面を通して、またフェイスブックやインターネットによる生中継・録画配信によりいつでもどこでもご覧いただくことで、わかりやすくお伝えできるよう、更なる努力を重ねてまいります。

広報委員会